

群馬大学大学院理工学府分子科学部門 教員公募（女性限定）

1. 職 名 助教
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 分子科学部門
(理工学部 物質・環境類 食品工学プログラム)
4. 業務内容 研 究
・食健康科学関連分野の研究
教 育
・大学院・学部学生に対する教育・研究指導
・担当授業科目
(学部) 物質・環境基礎実験, 食品科学実験, 食品生産工学実験, 課題発見セミナー,
課題解決セミナー, プロジェクト参加研究等
管理運営・社会貢献
・理工学府の管理運営に関する業務
・理工学府, 物質・環境類が進める(社会貢献活動)への参画・協力
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 4 年 12 月 1 日(以降のなるべく早い時期)
8. 専門分野 大分類: 生物学, 農学, 医菌薬学, 複合領域
小分類: 生物科学, 農芸化学, 水圏応用科学, 生活科学, 健康・スポーツ科学, 生体分子
科学, 薬学
9. 任 期 5 年
再任(5年)1回まで可。任期中に業績評価・審査を行い, 適任となった者は任期の定め
ない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。
10. 応募資格 次のいずれも満たす者
(1) 博士の学位を有する方, あるいは着任までに取得予定の方。
(2) 井上裕介教授と協力して生命科学, 食品科学, 栄養学, 健康科学の分野のいずれか
を基盤とし, 食健康科学に関する研究を展開するとともに, 食品工学プログラムの
大学院・学部の教育に意欲的に取り組める方。また, 群馬大学食健康科学教育研究
センターと連携して, センターが推進する教育・研究および地域貢献にも積極的に
取り組める方。
(3) 大学, 学部運營業務等に積極的に関われる方
(4) 産学官連携, 国際交流および地域貢献活動等の各種業務において協調性
をもち, 積極的に取り組める方。
(5) 女性
11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
本学教職員就業規則及び 2 号年俸制適用教員給与規則に基づき, 学歴・職務経験を考慮し
基本給を決定
ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
教職員就業規則

https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf

2号年俸制適用教員給与規則

https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf

12. 就業時間 8:30~17:15を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
(1日7時間45分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日~1月3日)
年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙(ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)
17. 応募締切 令和4年8月1日必着
18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)
(2) 教育研究業績書(本学所定様式)
(3) 科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)
(4) 査読付き学術論文3編以内の別刷りまたはコピー
(5) これまでの研究概要、および、教育、研究についての抱負(A4用紙2枚以内)
(6) 参考意見を伺える方(2名)の氏名と連絡先
19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目5-1
群馬大学理工学府分子科学部門長 上原 宏樹
簡易書留にて「分子科学部門食品科学分野教員応募書類」と朱書きのうえ、郵送願います。なお、提出書類は原則として返却いたしません。
20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接やプレゼンテーションを実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担
21. 問い合わせ先 群馬大学理工学府分子科学部門 上原 宏樹
電話:0277-30-1332
e-mail:hirokiuehara@gunma-u.ac.jp
22. その他
(1) 応募書類に記載された個人情報は、本選考以外の目的には使用しません。
(2) 群馬大学は男女共同参画・ダイバーシティの推進による多様な人材の活用を進めております。本公募では「男女雇用機会均等法」第8条の規定(女性労働者に係る措置に関する特例)に則り、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施します。なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先: https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/)
(3) 着任後は、学内の教員とともに、分野横断的な教育研究プロジェクトを積極的に提案・推進していただくことを期待します。
(4) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。